

大貫小学校区・佐貫小学校区の地域住民の方への説明会での質疑

期日：令和6年7月30日（火） 場所：中央公民館

出席者 小泉副市長 岡根教育長 中山教育部長 細谷学校教育課長 大畑主幹
菰田指導主事 森田係長

保護者：23名

小泉副市長の挨拶

学校再配置につきましては、私自身も子供たちの将来を希望あふれるものとするため、一定規模の集団の中で活動することを通して、子供たちに生きる力を育む教育環境を整備したいという教育委員会の思いを強く受けとめまして、また同時に私も同様の考えを持っております。

そのためには交通手段等の諸条件があることも事実でございますが、そのような条件整備につきましては、十分に配慮して参りたいと考えております。この後再配置についてご説明をさせていただきますが、地域の皆様のご意見ご要望を十分お聞きしながら進めて参りたいと考えておりますのでご理解をいただきたいと思っております。

富津市教育委員会岡根教育長の挨拶

私ども教育委員会では、児童生徒の減少が極めて少なくなっている学校があるということで平成30年に学校再配置計画を立てて、小学校では複式学級とって少ない学級の学年の二つを一つにして学級にするという複式学級の解消と、あと中学校は、学年が変わったらクラス替えができるような2クラスは学校に欲しいということで、それを目安に再配置をしました令和2年の4月から金谷小学校、竹岡小学校、湊小学校、天神山小学校を再配置して、天羽小学校としました。

また中学校では佐貫中学校と大貫中学校舎を配置して、大佐和中学校と、そして天羽東中学校と天羽中学校再配置して天羽中学校というような形で、令和2年4月に再配置しました。現在、佐貫小学校の子供たちの数が大変少なくなっているという状況があって、それについて再配置しようということまで今日お話をさせていただいております。児童生徒数については、小さな集団の中で学習ことは、学習に対して非常に効果的ですが、日常生活の中でいろいろな子供たちの意見交換ができたり、いろいろな子供たちがいる中で、どのような対応をするかという社会性を育てたりするためには、ある程度の一定規模の子供たちの集団が必要だろうということで再配置を考えているものでございます。

保護者の皆さんの意見を聞きながらご賛同を得たということで地域住民の方々についての説明をしているところでございますので、どうかご理解いただければと思っております。

意見・質問・回答 等

※回答(A)については説明会当日のものに、その後確認した内容を加えてあります。

Q1：（市の少子化や人口減少への対応策について）

富津市として、子供が減らないような施策を、何を行っているのでしょうか。

A1： 第3子給食費の無償化や、保育所の無償化、移住促進、企業誘致、高速バスによる通学費の補助等を行っております。

我が富津市を好きになるよう、市長の考えのもとに今進めています。子どもの施策だったり職場を増やしたり、企業誘致もそうです。全部関係してくると思います。今いる皆様方がいい街だな、いい市だなというふうになるような思いで、市長以下仕事をしてます。

Q2：（今後の再配置について）

もし、今後、佐貫・大貫・吉野で子どもが減った場合には、その3校がまた再配置するようにことがあるのでしょうか。

A2: 現在は吉野小学校は極めて少ない児童数ではありませんので、再配置は考えておりません。今後の推移をしっかりと注目して極めて少ない人数に至る場合については、学校再配置も考えなければいけないなと思っております。

Q3: (吉野小学校の児童数について)

吉野小学校の6年度の人数とクラス編成を教えてください。

A3: 6年度の吉野小学校の児童数は121名です。1年生22名、2年生18名、3年生17名、4年生24名、5年生12名、6年生28名で、各学年1学級です。

Q4: (吉野小学校の児童数等について)

吉野小学校の令和12年度の予想数を教えてください。

吉野小学校はもちろん存続させたいと思っていて、廃校という考えはありませんが、全国的に学校再配置というイメージして行政の方は行っていきそうなんです、今の時点で、まだ生まれていない子どもの数のことですが、20年後をイメージして、吉野小学校もこのまま存続していいのかと心配になります。10年20年の間に、学校名や校歌がコロコロ替わることはないと言ってもらえるのでしょうか。

A4: 12年度の吉野小学校の児童数の予測は、1年生7名、2年生4名、3年生11名、4年生11名、5年生8名、6年生17名、合計58名です。20年後というご質問については、確かに人口減少があるかもしれませんが、現在は、今いるお子さんたちの状況から判断して再配置を検討しているところです。

学校名や校歌などについては、変えるか変えないかっていうところは検討委員会でまた必要があれば、地域の方、保護者の皆様にアンケートなどを実施してご意見を伺いながら決定します。今ご質問あったように、例えば大貫小と佐貫小の再配置時に替えるか替ええないかっていうところも検討ですし、もし、今後吉野小と再配置があったときにも同様に検討は必要だと考えます。

Q5: (吉野小学校について)

佐貫小学校と吉野小学校との学校再配置を行わない総合的理由は为什么呢。将来的には吉野小学校の児童数が半分になることがわかっていて、また同じように合併する可能性があります。

A5: 現在は、吉野小学校が極めて少ない人数ではないというのが理由です。

吉野小は先ほど6年度の人数を述べさせていただいたように、現在は121名おります。今後、12年度までの予想で児童数確かに減少していくことが予想されますので、極めて少ない人数だと予測されたときには、その都度検討しなければいけないことだとは思いますが。

極めて少人数とは、複式学級が二つ以上あった場合を、基準としております。吉野小学校は令和12年度の段階で58人となっておりますが、まだ複式学級が2学級にはならない形になっておりますので、今の段階では再配置の対象にはならない形です。総合的に考えて、吉野小学校よりは大貫小学校の方がよいと委員会としては考え、提案をさせていただいております。

Q6: (スクールバスについて)

佐貫小学校から大貫小学校に行くとき、スクールバスの停留所はどんなところにできるのですか。

A6: それぞれの小学生の自宅の場所や、安全面にも配慮しながら検討していきます。また、バスの試乗会を行って、ご意見を伺いながら決定していきたいと

思います。

Q7：（小規模特認校について）

小規模特認校として、子供たちが減っている中で、学校に行けない子どもたちにとって、行く場所を作るという考えはありませんか。

A7： 富津市においては小規模特認校というようなことについては、現在施策はありません。小規模特認校のあり方とは、学校を存続させるための施策です。学区の市民から集めて、学校を存続させるという考え方ですが、今の私どもの考えでは、佐貫小学校の子どもたちが、大貫小学校の子どもたちと再配置をすれば、その教育環境を保てると判断しています。登校できない子どもたちについては、さわやか教室というこの公民館でやっている支援センターのような形で運用しています。

Q8：（道路状況について）

大貫小学校の前の道路で校庭側は雨が降ると大きい水溜りになり、反対側は側溝に蓋がありません。スクールバスが通るときの安全確保も大切だと思います。

A8： 道路状況の改善については、検討し取り組んでまいります。登校時間は小学校も中学校も大体同じ時間に始まりますので、同じ時間帯に集まってしまうというところはありません。それについては、十分交通安全等の確認をしながら、やっていきたいと思っております。

Q9：（さわやか教室について）

中央公民館で行われているさわやか教室を、今後、佐貫小学校の場所でする検討はできますか。

A9： さわやか教室実施場所については常に検討をしています。一つの案として、佐貫小学校にそういうものを作ってもいいのかなと思っております。基本的に2棟ある校舎の1棟だけを使用したとして、どう利用したらいいのかということについて、今後の課題になると思っております。ご意見を受け留め、視野に入れ、様々検討していきたいと思っております。

Q10：（学童保育について）

学童保育はどうなりますか。

A10： 佐貫にある学童保育につきましては、保護者説明会においても残してほしいというご意見もありましたし、先だつての佐貫地区の地域の方を説明会でもありました。現在それを念頭に関係部局と対応したいと思っております。

意見 本当は、気持ち的には佐貫に残りたい。でも、小学校に関わりがあるのは子どもで、わかりませんが、いいところだったということ、大貫の方々にも知ってほしい。佐貫小は、こじんまりしてとても楽しい、校舎的にも、教室から全部が見える楽しいところです。人数が少ないなりに、とてもいいところがありますので、皆さんにも佐貫がとっても良かったってところだけは伝えたいなと思っております。

意見 いずれ、富津地区の3つの小学校も人数が減るのではないかという危機感の中で、こちらに参加させていただきました。